

防 火 衣 製 品 仕 様 書

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「本部」という。）が購入する防火衣一式について適用する。

1 承認

受注者は、契約後すみやかに試作品一式を作成して、本部の承認を受けた後、製作を開始すること。

2 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、本部と協議し、処理すること。

3 保証

納品から1年間とするが、製造者等の設定する保証期間が1年間を越える場合は、その期間とする。ただし、縫製や材料等の不具合で製造者に明らかな瑕疵が認められる場合は、無償で交換及び修理に応じること。

4 概要

この防火衣は、外衣と中衣からなる多層構造とし、『ボディ・ナビデザイン』による特殊立体デザインの上衣（保冷剤3つ付属）及び特殊立体デザインのサスペンダー付きズボンとする。また、外衣と中衣は着脱可能なものとする。なお、この防火衣は上衣ショート丈・ズボンをハイウエスト型とする。

総務省消防庁が定める「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン（2022年度）」に適合したものとする。また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T 8060D 及び JIS T 8061D に規定されている人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

5 構成

(1) 防火衣（上衣及びズボン共）

エミュファイターダイヤプレミアム

(2) ヘルメット

NEO-P22 シルバー

(3) しころ

エミュファイターSP型

(4) ベルト

藤井電工株式会社製 墜落制止用器具

TB-GB521S-BL-OR 最大使用可能質量130kgタイプ

6 使用材料

(1) 外衣生地（上衣、ズボン及びしころ共）

素材はメタ型アラミド及びパラ型アラミドとし、以下の生地と同等若しくは同等以上とする。

ア 品名

テイジン エクスファイア ダイヤプラス

イ 品番
X 2 7 B 4 5 / X 2 7 B 2 0

ウ 混率
メタ型アラミド 37%
パラ型アラミド 62%
PBO 1%

エ 色相
ゴールド / ネイビー 指定色

オ 加工
撥水、撥油及び耐電防止

(2) 中衣

ア 透湿防水層（上衣及びズボン共）
アラミド100%基布にゴア クロステック®メンブレンをラミネートしたものとする。

イ 遮熱層兼裏地

(ア) 上着は以下の生地と同等若しくは同等以上とする。

a 品名
テイジン・テックウェーブ (TM)

b 品番
X 2 9 F 2 0

c 色相
濃紺

(イ) ズボンは以下の生地と同等若しくは同等以上とする。

a 品名
テイジン・エクspfア®リップストップ

b 品番
X 2 9 R 2 0

c 色相
濃紺（格子部はゴールド色）

(3) 補助材料

ア 内袖口
アラミド100%ニット

イ 面ファスナー
難燃性 幅25m/m、50m/m及び38m/m

ウ 反射材
パンチングトリム 蓄光シリコンレーン
蛍光レッド・オレンジ×シルバー75mm

エ ファスナー
YKK ファスナー

オ サスペンダー

ゴム製テープ幅38mm黒色

カ 押しホック

真鍮製#7050Aマーク

キ 縫製糸

「メタ型アラミド 100% 40番」及び「パラ型アラミド（フィラメント）30番（反射テープ部分）」

ク アイスポケット

ナイロン黒メッシュ

ケ 袖口補強・肩部補強・膝当て補強・ズボン裾口補強

アラシールド

7 縫製

各部の縫いあわせ等は以下の通りとする。

- (1) 各部の縫い合わせは良好である事。
- (2) 糸調子は良好である事。
- (3) 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け縫い始めと縫い終わりは返し針を施す事。
- (4) 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とする事。

8 上衣

(1) 身頃

ア 左前身に幅10cmの前立付きとし前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。面ファスナーについては身頃側にB面、前立て側をA面とする。

イ 前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

ウ ショート丈とする。

エ 主要色はゴールドとし、衿・袖山・袖下・細腹・背ヨーク・後身頃裾部はネイビー配色とする。

オ 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。

カ 前立及び左右前立側面にマイクハンガーを取り付ける。

キ 後身頃は三枚仕立てとする。

ク 前身頃胸部・後身頃背中・裾に反射テープを縫い付ける。

ケ 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付ける。

コ 左右裾サイド部分にロープ取り出し用スリットを入れる。

サ ポケット上部裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。

シ 右前身頃見返し下部に片布を取り付ける。

ス 左右両胸にポケットを取り付け、両ポケット内側に警笛用ループを取り付ける。

セ 前額部はゴールドとネイビーのツートンカラーとする。

ソ 背ヨーク部に「吹田消防/OSAKA」、後身頃裾部に「SUITA」と白反射文字を圧着する。
なお、詳細については本部と別途協議とする。

(2) 襟

ア 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。

イ 襟巾は後中心で約11cmとする。

- ウ 襟の前部にはストラップ（フラップ）を取り付ける。ストラップは伸ばした状態で襟裏に収納できるように、襟裏とストラップの表裏に面テープを付ける。
- エ 左襟元と左前身頃の間隙間ができないようにハギを入れる。
- オ 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- カ 表襟中央に襟吊りとサイズマークを付ける。

(3) 袖

- ア 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とする。
- イ 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付ける。
- エ 袖口には擦れ防止用として幅約3cmのアラシールドを縫い付ける。
- オ 袖口より約10cm上に反射テープを縫い付ける。
- カ 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける。
- キ 左右袖にワッペン取り付け用のマジック台を縫い付ける。また、左袖に白反射文字で「SUITA」の文字を入れる。
なお、大きさ、位置に関しては当本部が指定するものとする。

(4) ポケット

- ア 両裾に雨蓋付きポケットを設ける。ポケット上部は約5cmの傾斜を付けた斜めポケットとする。雨蓋は2分割式とし、ポケット本体に面ファスナーB面を縫い付ける。
- イ 両胸に雨蓋付きポケットを設ける。雨蓋については、右胸3等分割・左胸2分割（2：1）とし、ポケット本体に面ファスナーB面を縫い付ける。
- ウ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーA面を付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ ポケット上部裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- オ ポケット内側に警笛用ループを取り付ける。
- カ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(5) 肩当て

- ア 補強として、アラシールドを両肩部に縫い付ける。
- イ 内側にウールラシャを透湿防水層で包み込んだパットを縫い付ける。

(6) 片布

右前身頃見返し部に片布を取り付ける。

(7) 中衣

- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いする。
- イ 肩部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地）縫い付ける。
- ウ 両脇と背中に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いをしてシームテープで目止めをする。
- オ 右前身頃下部に取り扱い表示及びサイズマークを縫い付ける。
- カ バイヤステープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスナーを付ける。
- キ 左右裾サイド部分にロープ取り出し用スリットを入れること。

9 ズボン

(1) 身頃

- ア ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとして、ベルトとサスペンダーにより支持するものとする。
- イ ハイウエスト型とする。
- ウ 主要色はゴールドとし、サイド部・内股・内裾・裾部はネイビー配色とする。
- エ 内股部及び脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。
- オ 脇縫い、内股縫い、及び尻縫いは、裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

(2) 前立て

- ア 前立てはコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。
- イ 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。
- ウ 前立てファスナー裏下部に約14cmの棒シックを縫い付ける。

(3) 膝部

- ア 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。
- イ 膝部に補強の為、アラシールドを縫い付ける。

(4) 腹部

- ア ベルト通しを6本縫い付け、右前ベルト通し下にサイズマークを挟み縫いする。
- イ ベルト幅は約38ミリとし、両横腹で確実に締められる構造とする。
- ウ ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。
- エ 締め付けた後に緩まないようにフリー面ファスナーで固定できる構造とする。
- オ 前身頃上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はカン止めをする。
- カ サスペンダーはホルスター型とする。
- キ 腹裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- ク 左腹裏に片布・サイズマークを縫い付ける。

(5) 腰部

- ア 墜落制止用器具取り付け用ループを5カ所縫い付け、ショックアブソーバーの干渉しにくい位置に縫い付ける。
- イ 前身2カ所のループ下部に、D環を取り付ける。

(6) 裾

- ア 両裾から約10cm上の位置に、反射テープを縫い付ける。
- イ 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。
- ウ 裾口に絞り用フラップを取り付ける。
- エ 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付けること。
- オ 裾口に補強の為、アラシールドを縫い付ける。

(7) ポケット

- ア 左右両腿に雨蓋付きポケットを設け、ポケット本体に面ファスナーB面を縫い付ける。
- イ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーA面を付け地縫いの上飾り縫いとする。

ウ ポケット上部裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。

エ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(8) 中衣

ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いする。

イ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。

ウ 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付ける。

エ バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。

オ 左身頃上部に取り扱い表示、片布及びサイズマークを取り付ける。

(9) 片布

左腰裏に品質表示マーク及びサイズマークを取り付ける。

10 ヘルメット

(1) 労働安全衛生法 第42条の規定に基づく保護帽の規格に適合するものとする。

(2) 帽体はFRP製、銀色とし、及び帽体本体は難燃性（自己消火）とする。

(3) 内部に衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着帯可動式の顔面保護板を取り付ける。

(4) ヘルメットの左右に「吹田消防」と黒色で記入し、赤色反射素材にて階級周章を入れる。

また、後部ツバ中央に「OSAKA」と黒色で文字を記入する。

(5) 帽体両側面に「吹田消防」、「SUITA F.D.」マークロゴデザインを印刷入れする。「吹田消防」は黒色丸ゴシック体、「SUITA F.D.」マークロゴデザインについては赤色の塗装、デザイン縁はオレンジ色とする。文字・デザインに関する大きさ等その他詳細について別途指示する。

(6) 締め付けバンドのサイズ調整はダイヤル式とする。

(7) その他詳細等については本部と別途協議とする。

11 しころ

(1) しころは1枚裁ちとし、傷、汚れ等の欠点のないものとする。

(2) 裏面上端部に、綿テープを縫い付け補強する。

(3) 顔面を覆う折り返しを外衣共生地で縫い付ける。

(4) 片布を裏面中央に縫い付ける。

(5) 表面に約25mm幅の反射テープを縫い付ける。

(6) 折り返し部は、面ファスナーとドット釦の併用式とする。

(7) 表生地はX27B45（ゴールド色）を使用する。

12 寸法表

(1) 上衣

サイズ	着丈	衿丈	胸囲	裾周
M	71	80	121.5	112.5
L	75	83	125.5	116.5
LL	79	86	131.5	122.5
LLL	83	89	137.5	128.5
別寸	別寸	別寸	別寸	別寸

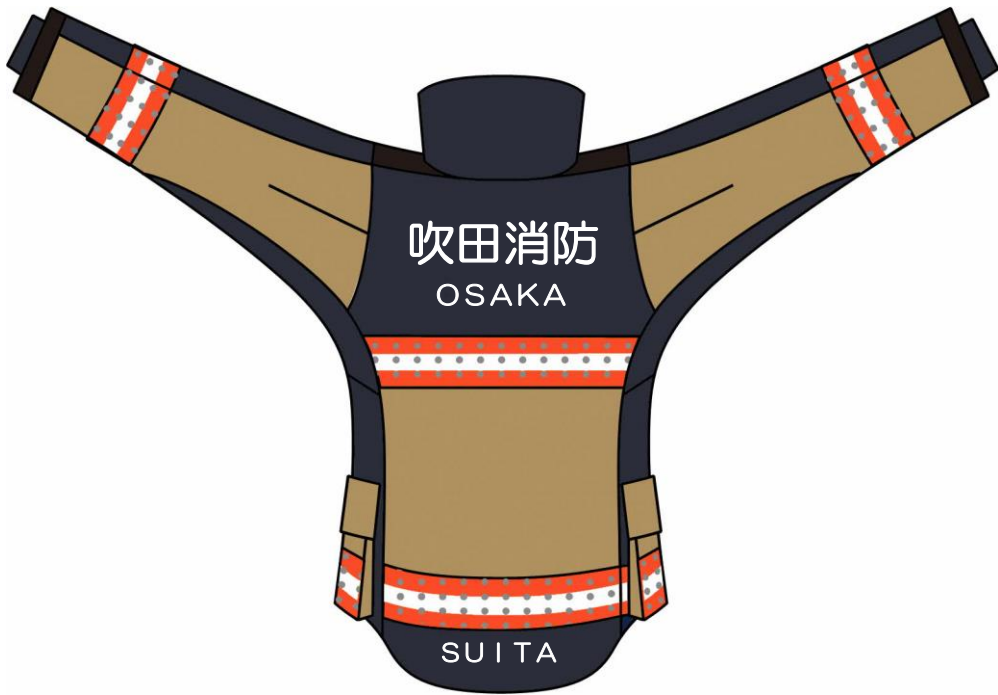
(2) ズボン

サイズ	腰 囲	股 上	股 下	渡り巾
W90	90	35	70	38
			75	
W95	95	35	70	39
			75	
W100	100	36	70	40
			75	
W110	110	37	70	43
			75	
別寸	別寸	別寸	別寸	別寸

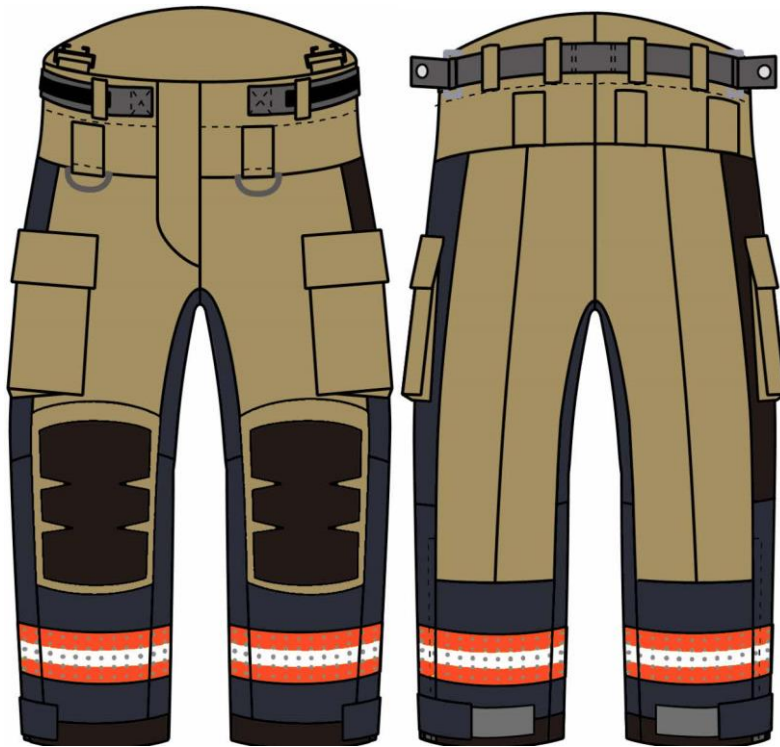
13 附則

- (1) 受注者は、契約締結後に生地紡績メーカーの品質証明書、出荷引受書、中衣 透湿防水層の要求性能の試験成績書（社内試験可・写し可）を提出する。
- (2) 保冷剤については、防火衣一式につき1セット（3個）付属するものとする。
- (3) 納入数と同数の防火衣の回収、廃棄を行うものとする。
- (4) 本仕様書に記載がない事項については、本部と打ち合わせを行うものとする。
- (5) 防火衣購入予定数のサイズ内訳については、別表1のとおりとする。

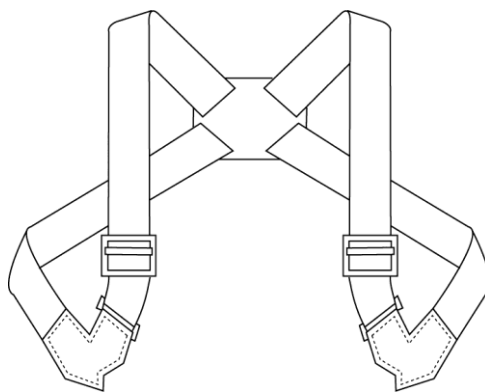
防火衣上衣



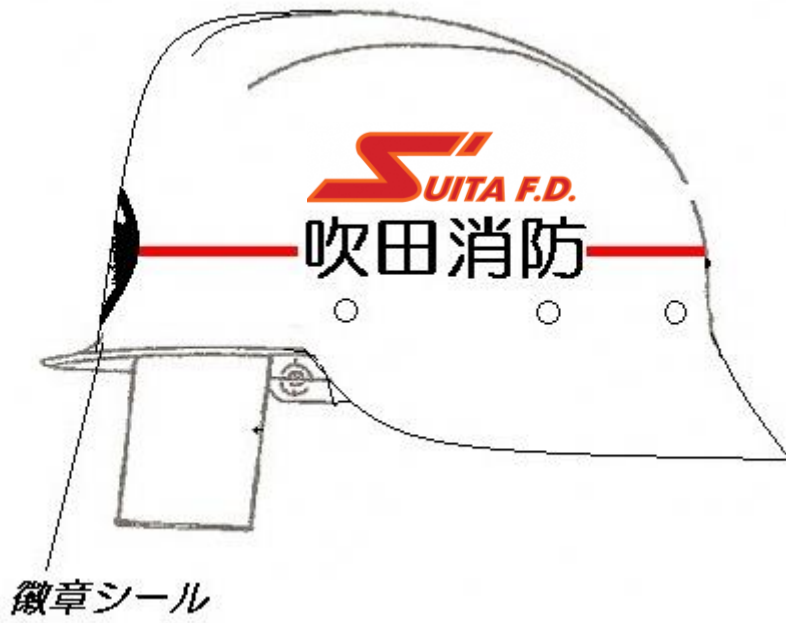
防火衣ズボン



サスペンダー



ヘルメット



しころ

